



△右から岩井翔一さん、千葉専務、お客様

千葉 真也

工事部 取締役専務

（前編の続き）

さくら株式会社の立ち上げメンバーであり、取締役専務として活躍中の千葉真也。見積作成、現場の人員配置や安全パトロールなど会社全体に広く目を配りながら、経営理念の「異体同心」を胸に日々の業務にあたっている。理念が根づいていると実感するのは、一体どのような瞬間なのだろうか。また、当社が未来を切り拓いていくために必要なことは。大切な仲間たちへの思いに迫る。

地域とともに歩む、新たな挑戦

部長の伊藤は「異体同心」の精神が自然と身についており、その姿は見ていて実にすがすがしく、理想的だと千葉は語る。役職会議

だと千葉は見込んでいる。

「現場の先頭に立つことは大きなプレッシャーでもあるでしょう。ですが、そのプレッシャーを楽しみながら、力を伸ばしてくれ」と嬉しいです。

全社一丸となり、未来を切り拓く

日々それぞれの場所で力を尽くしてくれる社員たちに、心からの感謝を抱いている千葉。遠方の現場に長期出張する社員も多い。バランスの良い人員配置によって一人ひとりが働きやすい環境を整えたい、と強く思う毎日だ。

『異体同心』を心がけ、助け合い、議論しながら全員でより良い当社を作り上げていきましょう。この社内報を読んだら、『読みました』LINEで報告をください。合言葉は『異体同心』。全社員からLINEが来るか心配ですが、皆さん

やリーダー会議でも、「会社をより良くしたい」という強い思いがひしひしと伝わってくる。

特筆すべきは、「さくら会」の立ち上げ時。ごみ拾いなどのボランティア活動を通し、地域に根差し貢献していくことを目指す団体だ。発足に際しては千葉も「自分も会の中心的存在として役に立ちたい」と手を挙げたが、返ってきたのは「必要なときはこちらから声をかけるので、役員はただ見守ってほしい」という言葉だった。伊藤の明るい性格と時折混じる関西弁で、「さくら会」を引っ張っていく姿に期待が高まる。

責任感が伸ばした「リーダー」としての力

課長の鷺尾を一言で表すと、「まっすぐで熱い男」。リーダー

を信じて待っています！」

以前社内報に登場した際に掲げた「50歳までに海外進出を果たしたい」という目標は、今も千葉の心の中で静かに燃えている。頭に浮かぶのは水道インフラが十分に整っていない、カンボジアなどの国。そういった国々に水道を通し、「飲める水道水」を届けたい。自身の大きな目標も実現すべく、千葉の挑戦はこれからも続いていく。

企業情報

設立年：2012年4月

年商（さくら株式会社）：12.8億円

年商（さくらグループ全体）：17.2億円

※ 2025年3月決算時点

中堅の覚悟が会社を前進させる

これからの当社を成長させる鍵

シブがあり、ムードメーカーでもあり、場の雰囲気は自然と前向きにする力を備えた人物だ。当社を立ち上げる以前から、千葉は幾度となく鷺尾と同じ現場に立ち、その変化と成長を間近で見えてきた。会社設立後は積極的に「異体同心」を口にするようになり、それに反する動きがあると「それって『異体同心』と違うんじゃないですか？」と電話をかけてくるほどだ。

鷺尾が大きく飛躍したのは、現場を任されたのがきっかけだったと千葉は思っている。現場の責任者となり部下を抱える立場となったことで、「自分がしっかりしなければ！」という責任感が芽生えたのだ。

となるのは、何と言っても中堅層。職長あるいはそれに準ずる立場として、現場を一人でまとめられる存在になってほしいと願っている。「下積みの時代はもう終わった」と、厳しくも力強い言葉で、千葉は中堅社員たちの背中を押す。

「少人数の現場も多く、管理者であると同時にプレイヤーであることが求められます。これまで多くの経験を積んできた中堅層の社員が、これからは現場を引っ張っていく存在になる必要があります」。すでに5人ほどの社員が、現場の先頭に立つ力を身につけている。あとは恐れずに一步を踏み出し、実践を通して培ってきた知識と技術を存分に発揮するだけだ。いきなり数億円もの大規模現場を任せるのではなく、まずは数千万円の現場からスタートし、段階的に経験を積んでいけば、あと4現場は同時に回せる体制が整うはず

さくらへようこそ!

新入社員紹介



出身地
宮城県

趣味
バドミントン、ゲーム

誕生日
2月8日

製造部 鈴木 陸獅さん

Q 実は私○○なんです

実は私ハンギョドンが好きです！
キーホルダーや人形などがあれば、何でも買ってしまいます。

Q 学生時代の思い出

6年間続けたバドミントンです。一番の思い出として心に残っています。

Q 入社のきっかけ

父からの誘いがきっかけで入社いたしました。

皆さんへのメッセージ

どんな質問にも的確に答えられる、頼れる存在になることを目指します！



出身地
宮城県 栗原市

趣味
友人と遊ぶこと

誕生日
7月30日

製造部 柴山 竜汰さん

Q 実は私○○なんです

実はドライブ好きです。

Q 学生時代の思い出

仲間たちと、いつも元気に遊んでいたことです。

Q 入社のきっかけ

父の勧めで入社を希望しました。

皆さんへのメッセージ

一日も早く戦力になれるよう、精一杯頑張ります！



出身地
宮城県

趣味
アニメ鑑賞

誕生日
5月16日

製造部 赤間 柚来さん

Q 実は私○○なんです

甘い物と辛い物が好きです。

Q 学生時代の思い出

一番の思い出は修学旅行です。

Q 入社のきっかけ

姉に誘われ、この仕事に興味を持ちました。

皆さんへのメッセージ

よろしくお願いします！



出身地
宮城県

趣味
イベントに行くこと、
アニメ鑑賞、
寝ること

誕生日
5月16日

製造部 赤間 心琴さん

Q 実は私○○なんです

実はコスプレイヤーです。主に男装を楽しんでいて、厚底靴を履きこなすのも得意です！

Q 学生時代の思い出

先生と廊下で追いかけてをしたことや、修学旅行で行ったユニバーサル・スタジオ・ジャパンも思い出です。

Q 入社のきっかけ

企業が集まるフェスタで、当社を知りました。

皆さんへのメッセージ

一人で一次組ができるようになること、そして溶接を極めることを目標に頑張ります！



出身地
岩手県

趣味
ゲーム、読書

誕生日
9月16日

製造部 芳賀 彩花さん

Q 実は私○○なんです

RPGゲームが得意です。

Q 学生時代の思い出

学年対抗のゲーム大会や地域のボランティア、学習発表会など、仲間と力を合わせた行事が心に残っています。

Q 入社のきっかけ

「ジョブドラフトFes」への参加後、実際の職場を見学し、同業他社よりも多くの女性が活躍している点に魅力を感じました。

皆さんへのメッセージ

たくさん学び、資格を取得して実践を重ね、いつかは皆さんと並べるような存在になります。



出身地
宮城県

趣味
家でドラマやアニメ
などを観て、仕事の
疲れを癒しながら過
ごしています(笑)

誕生日
7月11日

製造部 武藤 永遠さん

Q 実は私○○なんです

大学は卒業しましたが、中学校3年間の中間テストで、5教科合わせて100点もいったことがありません(笑)

Q 学生時代の思い出

部活動を最後までやり遂げたことです。柔道部に所属していましたが、最後の大会で優勝できず、悔しい思いをしました。この気持ちをバネに、社会人になっても柔道を続けようと思っているため、頑張ります！

Q 入社のきっかけ

社長に声をかけていただき、職場体験に参加した際、社員一人ひとりの個性を大切にする社風に惹かれ、ここで働きたいと思いました。

皆さんへのメッセージ

周りから仕事を任せられる存在になるため、技術面はもちろんのこと、様々なことに挑戦したいと思います。そして、いつかは「とわに任せて良かった」と言われるような社員を目指します！